

県大・市大公開講座 2018
2

県立広島大学 × 広島市立大学
連携公開講座

世界を 言語を通じて 知る

全4回

開始6年目を迎える本年度は、多言語・多文化についての教育プログラムを持つ2大学の特色を活かし、諸外国の文化や歴史、言語を通してその国の魅力や特長を引き出す講座「言語を通じて世界を知る」をテーマに開催。

広島市立大学と県立広島大学から各2名の講師がそれぞれの専門知識を活かし、楽しく、そして役に立つ講座を展開します。

10月5日－26日

毎週 金曜日 18:30-20:00

会場 広島市立大学サテライトキャンパス

対象：どなたでも 定員：40名 受講料：無料

- 10/5 古典ギリシア語から広がる世界
県立広島大学 准教授 大草 輝政
- 10/12 外来語を通してフランスを知ろう
広島市立大学 准教授 大場 静枝
- 10/19 モンゴル語の世界・モンゴル語から見える世界
県立広島大学 准教授 河村 和也
- 10/26 言語とジェンダーの多様な世界
広島市立大学 教授 ヴェール ウルリケ

申込方法

ハガキ、FAX または email により、

①郵便番号、②住所、③名前（ふりがな）、④年齢、⑤電話番号 をご記入の上、

平成30年9月18日(火)(必着)までに広島市立大学社会連携センター「言語を通じて世界を知る」係宛にお申し込みください。

*申込多数の場合は抽選とし、受講の可否は申込締切日以降に通知します。

申込・問合せ先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号 広島市立大学社会連携センター「言語を通じて世界を知る」係
TEL : 082-830-1764 FAX : 082-830-1555 E-mail : office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

講座の内容

言語を通じて世界を知る

10/5

第1回

古典ギリシア語から 広がる世界

県立広島大学 准教授 大草 輝政

米トップ大学のシラバスを横断検索すると、課題図書第一位はプラトン（『国家』）だそうです。この21世紀になぜ……？

本講座のねらいは2つです。まずはギリシア語への招待。文字の発音からちょっとした解読作業までを体験します。その後、古典の力について考えます。

10/19

第3回

モンゴル語の世界・ モンゴル語から見える世界

県立広島大学 准教授 河村 和也

本講座では、「近くて遠い国」とされるモンゴルの現代のことばを概観し、日本語や英語との比較を通じてその言語的特徴を明らかにします。また、ことばからうかがい知ることのできるモンゴルの文化やモンゴル民族の世界観の一端に触れてみたいと考えています。

10/12

第2回

外来語を通して フランスを知ろう

広島市立大学 准教授 大場 静枝

外来語とは、他の言語から借用し、自国語と同様に使用するようになった語のことです。この講座では、3種類の外来語、つまりフランス語由来の外来語、日本語由来の外来語、英語由来の外来語を切り口に、フランスの異文化受容や言語政策の一端を紹介합니다。

10/26

第4回

言語とジェンダーの 多様な世界

広島市立大学 教授 ヴェールウルリケ

ジェンダー（男らしさ・女らしさ）の規範とそれに対応する社会システムによって、個人の生き方が規定され、その可能性が制限されます。また、文化的・社会的につくられるジェンダーと該当社会で使用される言語は密接に影響し合っています。この講座では、「言語とジェンダー」をめぐる様々な問題を国際比較の観点から見ていきたいと思ひます。

広島市立大学サテライトキャンパス

大手町平和ビル 9階

〒730-0051

広島市中区大手町4丁目1-1

